

Ⅱ 検討テーマ（地域課題）について

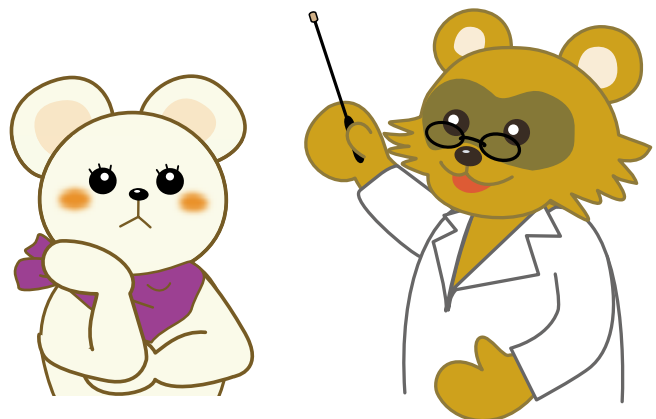
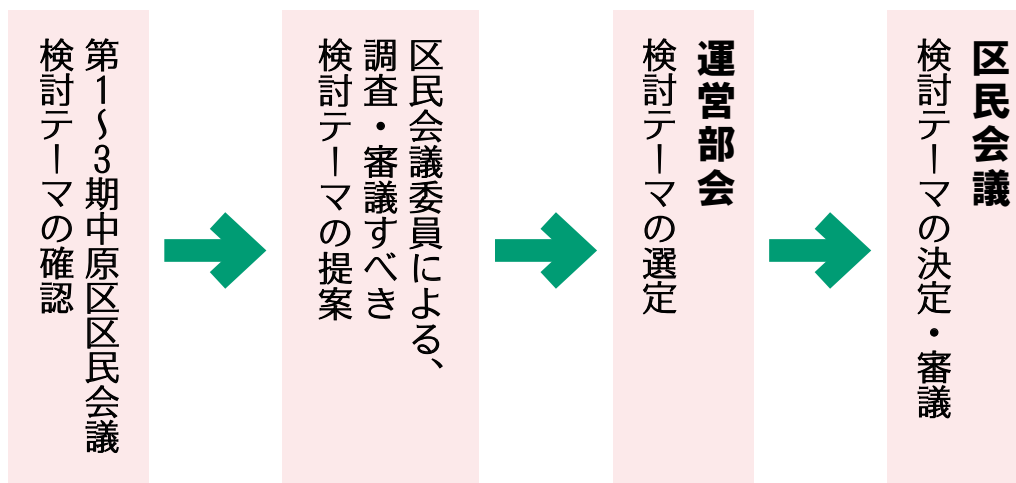
1. 検討テーマの選定について

区民会議の主な役割は、区における地域の課題を区民が主体となり地域で解決を図るための方針や具体的な方策などについて調査・審議を行うことです。

中原区区民会議では、地域が抱えている様々な課題（区民会議委員が日々の活動や生活を通して、検討する必要があると感じる課題や区役所が業務を通して把握した課題、区民から寄せられた課題）の中から緊急性や重要性を勘案して運営部会で検討テーマとして選定します。

■ 検討テーマの選定の流れ

検討テーマは、下記の手順で決定し、審議を行います。



2. 各委員の意見

検討テーマについて、平成24年6月29日の準備会議で委員から出された意見を紹介します。

防災または地域交通の向上など、安全で快適な暮らしを支える

【「防災」 震災に備える行動をどうするか？】

- ・安全、安心の街づくり、災害に備えたネットワークづくり。
- ・震災に備える住民活動をどうするか。
- ・防災対策について、首都直下地震などいわれていることから、人命救助体制を構築したいと思います。
- ・実際の町会あげての避難の訓練が必要ではないか。防災をもっと具体的な行動で行う。
- ・当座の工夫食も一緒に（アルファー米の工夫、缶詰料理等）。

【災害に備えたり、見守りのための地域内ネットワークづくり】

- ・災害時に備えた地域内ネットワークづくり。
- ・災害時、高齢者だけでなく、保護者が就労中で子どものケアがいき届かないことを想定した地域での、高齢者と子どもの見守りネットワーク作り。
- ・地震対策関係で、ソフト面をどうすすめていくか（地域活動団体や自治会関係、備蓄物品、訓練の実施）。
- ・万一に備えての備蓄、訓練、啓発、同時被災の可能性が低い遠いまちとの連携。
- ・子育て世代や高齢者世代が相互に交流し充実した生活を送ることができるまちづくり。例えば「子どものための防災計画」などを具体的な計画に落とし込むなど、区民参加の中で進める。

【自主防災組織の充実】

- ・自主防災の組織充実や関連の諸施策、集合住宅との連携。
- ・避難所運営会議、そして避難所訓練（行政、町内会・自治会、自主防災組織、学校、関係団体、危機管理室との連携）。

【非行防止】

- ・安全安心、マナー教育、非行防止、犯罪予防、防災。警察との連携、協働による啓発運動、各関係機関とのネットワークを組んでの合同会議。

【自転車と高齢者の事故防止】

- ・自転車と高齢者の事故が多いので少しでも減らせるように努力していきたい。

子育て、教育など人を育て心を育む

【子育て世代をサポートする交流・イベント等】

- ・子育て世代をサポートするための年齢を超えた交流、サポートに関するノウハウの習得、共有、イベントなどの開催。
- ・子どもたちが安心して暮らせる町づくり。
- ・子どもの健全教育 平成23年度は、中原区の児童虐待相談・通告件数が大幅に増加しました。これを減少ないし無くしたいと思います。
- ・小さなこどもがいても安心して参加できる空間を作るなど。
- ・育児経験のない若い母親の友だちづくり、スタッフとの異世代間交流、ストレス解消。
- ・子育てについて、団体のポスター募集広告など小中学校などで許可制にして掲示できる様にしたい。
- ・昨年度の「子育てふれあいカフェ」のような子育て支援の取組。食事を通しての支援を一緒にしたい。
- ・子育て支援の中で、母親の再教育（支援を含む）が必要。

【子ども健全育成】

- ・健全な子供達の育成のためボーイスカウト運動を知ってもらいたい。
- ・平成23年度は、中原区の児童虐待相談・通告件数が大幅に増加しました。これを減少ないし無しにしたいと思います。
- ・保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の健全育成策の検討および実行。
- ・学校との連携、交流による情報支援。マナー教育、非行防止、いじめ、虐待など。

【子育て、親への食育活動】

- ・子育て、小学生の親たち、若い親世代への食育（人間形成にも）。
- ・子育て中の親への支援および食育。

文化または観光の振興など、まちの魅力の発信

【古道中原街道の復活】

- ・中原街道の古道としての復活（現状のままで）金銭をかけずして保存の方法がなにかあるのでは。

【区の文化・歴史の発展】

- ・区の文化、歴史の発信、それに伴う諸行事の充実。
- ・街道が区名になっているのは中原区のみなので、区民の皆様知ってもらえれば。

地域住民組織の活動、まちづくり活動などの市民自治の推進

【新旧住民の交流】

- ・新しく住まれる方と従来から暮らす方とのコミュニティを重視した企画。
- ・昔から住んでいる人々と新しい人々の交流、又、お互いに地域を知って頂く。
- ・地域の活性化と交流（商店企業との協同、新旧住民の交流）。

【交流コミュニティづくり】

- ・新住民と現住民との交流やコミュニティづくり。
- ・地域に住む方（新旧住民）のコミュニティづくり。

まちの活力向上

【個人商店、商店街を元気に】

- ・商店街と連携したまちづくり活性化。
- ・中原区の個人商店・商店街が元気になる企画。
- ・実際の町内会・自治会あげての避難の訓練が必要ではないか。

【地域の活性化】

- ・企業、商店、住民の交流の場。

【区民会議委員の所属する団体を通し地域を活性化したい】

- ・所属する団体を通し、地域の活性化。

福祉の推進、健康の推進など幸せな暮らしを支える

【縁側のようなたまり場づくり】

- ・たまり場の創設、昔の縁側的なもの（情報交換）。

【高齢者の問題】

- ・区民会議として高齢者問題を考える必要があるのでは。

【食を通しての健康づくり】

- ・高齢者に対しての食を通しての健康づくり。

【多世代地域交流の場】

- ・地域住民、親子等の交流の場を設ける。
- ・世代交流の場の提供など。
- ・警察との連携、協働による啓発運動、各関係機関とのネットワークを組んでの合同会議。

緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境の向上

【緑地の保全】

- ・緑の保全、環境教育（小学校への出前授業）。
- ・残り少なくなった緑地の保全活動と交流をはかる。
- ・緑の多い街、環境の向上。

【ゴミの再生がどうなっているか】

- ・ゴミの分別の啓発、分別後のゴミのリサイクル状況の調査など。
- ・ゴミについて、現在の状態、再生がどのようになっているか、ごみ分別の重大さを認識してもらう。

その他

【区民会議のPR】

- ・あらゆる手段を通じて、区民会議の認知度を上げる。
- ・区民の方に区民会議の存在を一層知ってもらう。

準備会議の意見交換から見えてきたこと

- 「新旧住民の交流」というテーマは、人口が増加している中原区において、特に大切なテーマである。
- 中原区区民会議は、委員が幅広い分野から参加していることが特徴であり、委員の得意なことを活かすこと、分野をこえて連携する取組が期待できる。
- これまでの区民会議で取り扱ったことがあるテーマであっても、今後も引き続き取り組むべき重要なテーマがある。継続して審議を行うテーマについては、委員のネットワークを活かして担い手となる人や団体をみつけていくなど、課題解決に向けた取組を続けるための検討をすることが大切になるのではないかと。

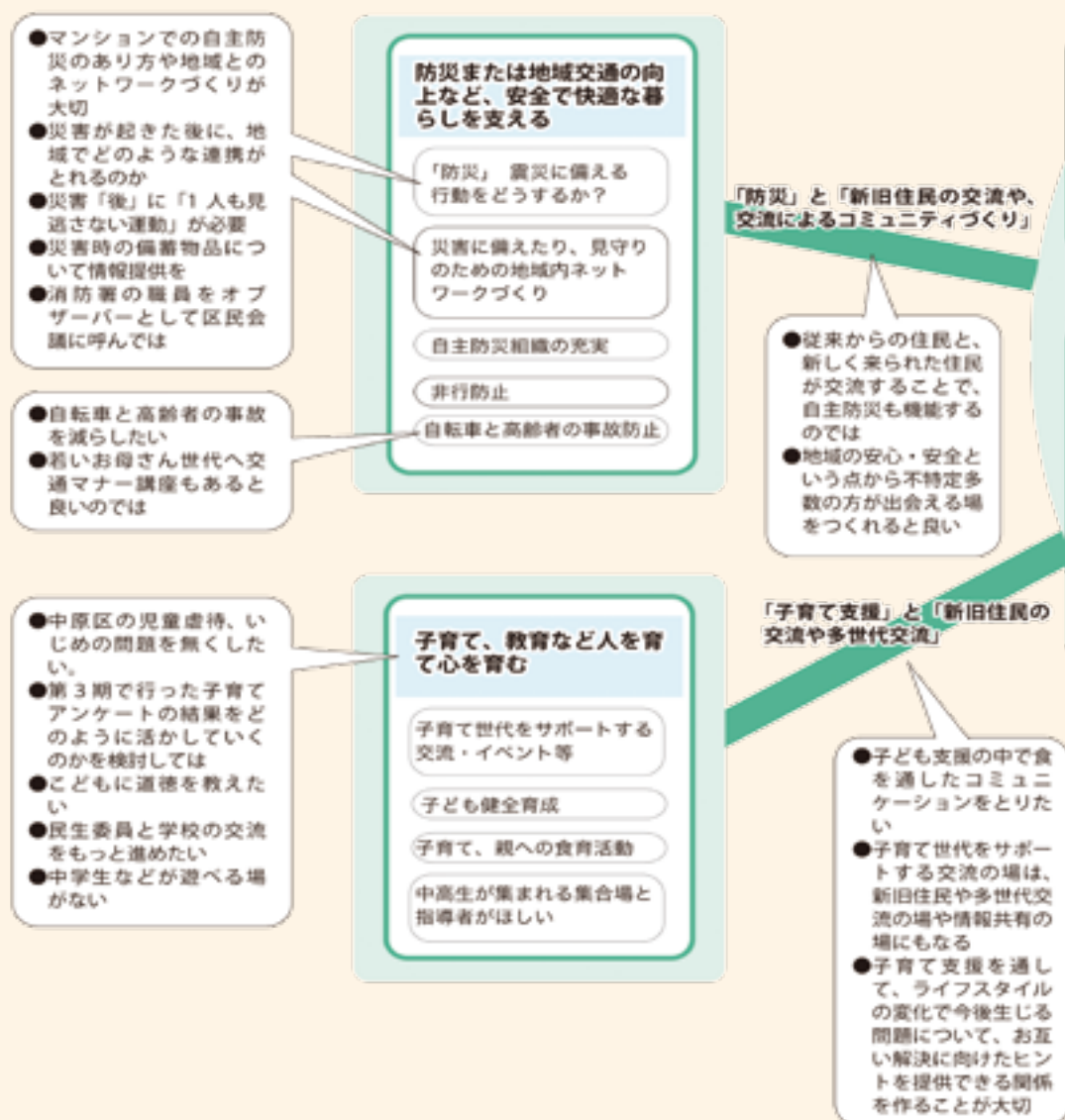
3. 検討テーマの決定

委員から出された意見について、関連のあるテーマや意見を整理し、第1回運営部会で意見交換をしました。

「防災」、「子育て支援」、「文化、伝統、歴史などの中原区の魅力発信」の3つについては、「新旧住民の交流や、多世代交流によるコミュニティづくり」と関連し合うテーマの意見も出されており、人口が増加している中原区において大切なテーマであるとの話が出されました。

第4期で取り上げることになったテーマは、どれも長い時間をかけて議論できるテーマですが、あえて順番をつけるのであれば災害はいつくるか分からないものなので、1つ目のテーマにすべきであるとの意見が出されました。第2回本会議の審議を経て、第4期1つ目の検討テーマが「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に決定されました。

【テーマの一覧図】



【検討テーマの案】

